

JICA海外協力隊の表敬について

ボランティア活動で海外へ派遣される福井県出身者が、出発前および帰国報告のため県庁を表敬する。出発は年3回（7・11・3月）。帰国表敬は帰国後1～2か月後。

《JICA海外協力隊》

独立行政法人国際協力機構（JICA: Japan International Cooperation Agency）が、国際協力事業として昭和40年から実施しているボランティア事業で、開発途上国で様々な活動を行う。

目的)・開発途上国の経済・社会の発展、復興への寄与

・友好親善・相互理解の深化

・国際的視野の涵養とボランティア経験の社会還元

種類	海外協力隊		シニア海外ボランティア	日系社会青年ボランティア	日系社会シニアボランティア	
対象年齢	青年 20～39 歳		40～69 歳 (一定以上の技能・経験有)	青年 20～39 歳	40～69 歳 (一定以上の技能・経験有)	
	40～69 歳			40～69 歳		
任期	原則2年(教員の現職参加は3月までとし4月から現場に復帰)					
職種	コンピュータ技術、小学校教員、障害児・者支援、コミュニティ開発、スポーツ全般など			日系日本語学校教師、文化、野球、家畜飼育、経営管理、SW、保健師など		
派遣国	アジア・アフリカ・中南米・大洋州・中東の 約70か国			中南米の約9か国		
	約60か国					
参加状況	全国	派遣中	1,808名 (71か国)	208名 (51か国)	112名 (5か国)	28名 (5か国)
		実績	45,538名 (92か国)	6,540名 (78か国)	1,527名 (9か国)	547名 (10か国)
	福井県	派遣中	12名 (9か国)	2名 (2か国)	0名 (0か国)	0名 (0か国)
		実績	306名 (69か国)	19名 (14か国)	12名 (2か国)	1名 (1か国)

※派遣実績（令和2年1月5日現在）

《海外ボランティア支援事業》

JICAボランティアに参加する福井県出身者をとおして、派遣国住民のニーズに応えた県民総参加の国際協力を推進するとともに、国際交流・協力を行う人材を育成する。

【事業内容】

- ・隊員からの要請に基づき、現地での活動に必要な協力物資等を県民から募集し、隊員へ送付する。
- ・隊員は、派遣国住民に協力物資を提供するとともに、福井県を広くPR。
- ・活動の様子や物資の活用状況、現地住民等の声などをレポートで報告してもらい、県ホームページなどで紹介し、帰国後、学校等で活動報告や各国の紹介などを行うことで、県民の国際協力の意識を高める。

〈平成30年度までの実績〉

国数：30か国 ボランティア数：39人

物資：文房具、楽器、浴衣、絵の具、辞典、縄跳び、ボール、調理器具…など

総量：274箱（3,703.4Kg）